

# 令和6年度 三重大学修学達成度評価 報告書（概要） －三重大学生の4つの力に関するアンケート調査－

教育推進・学生支援機構 教育企画部門

## 1. アンケートの概要

### 1.1. アンケートの目的

三重大大学の学位授与方針となっている「4つの力」<sup>1</sup>に対する学生の自己認識の現状を把握し、今後の三重大大学における高等教育展開のための基礎資料とする。

### 1.2. アンケート1の設計

- (1) 調査対象 令和6年度新入学生
- (2) 対象者数 1,350名
- (3) 対象者選択法 全数調査
- (4) 調査方法 三重大大学ウェブ調査システムを用いて実施した。
- (5) 調査時期 令和6年4月～令和6年5月



### 1.3. アンケート2の設計

- (1) 調査対象 三重大大学に在籍する学部生
- (2) 対象者数 5,911名
- (3) 対象者選択法 全数調査
- (4) 調査方法 三重大大学ウェブ調査システムを用いて実施した。
- (5) 調査時期 令和6年9月

### 1.4. 分析対象者数

以下の表1のとおり、分析対象者数は、アンケート1は1,148名、アンケート2は4,801名である。回答率は、アンケート1と2ともに85.0%であった（前年度調査では、各々83.7%、73.8%であった）。

表1 分析対象者数

			人文	教育	医	工	生物資源	合計
アンケート1 (春)	学生数	1年生	254	206	205	411	274	1,350
	回答数		216	170	173	338	251	1,148
	回答率		85.0%	82.5%	84.4%	82.2%	91.6%	85.0%
アンケート2 (秋)	学生数		1,040	800	1,090	1,660	1,060	5,650
	回答数	1年生	249	206	203	405	274	1,337
		2年生	247	205	105	396	263	1,216
		3年生	259	193	89	419	265	1,225
		4年生	180	191	83	334	219	1,007
		5.6年生			16			16
	合計		935	795	496	1,554	1,021	4,801
回答率		89.9%	99.4%	45.5%	93.6%	96.3%	85.0%	

<sup>1</sup> 4つの力 (1年生)：感じる力、考える力、コミュニケーション力、行動する力

4つの力 (2年生以上)：感じる力、考える力、コミュニケーション力、生きる力

## 2. 三重大学生の「4つの力」の結果

### 2.1. 全学生の4つの力

#### 2.1.1. 全学生の「感じる力」

感じる力

本調査では、「感じる力」に関する3つの各項目について、学生が自己を振り返ることができる設問を5つずつ設けている。学生は、各設問について自分があてはまると思うものをチェックした。以下に、【1年生】と【2年生以上】に分けて、設問と学年ごとの選択率を示す。

【1年生：①感性、②共感、③心身の自覚】

#### ① 感性

表 2 感性（感じる力）の選択率（全1年生）

	アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
	1年生	1年生
①感性	全回答数 1148	全回答数 1337
考えたことだけでなく、感じ取ったことも大切にしている	93.0%	98.4%
相手が感じていることを同じように感じ取ることができる	72.4%	84.2%
文章や作品などで表現をする際に、自らの感性を意識して行うことができる	74.0%	83.8%
学習の振り返りにおいて、獲得した知識だけでなく、学びの過程に伴う感情についても意識することができる	70.3%	82.8%
多様な文化や価値観との出会い、または人との関わりを通して、自らの感性を磨こうとしている	83.4%	89.2%

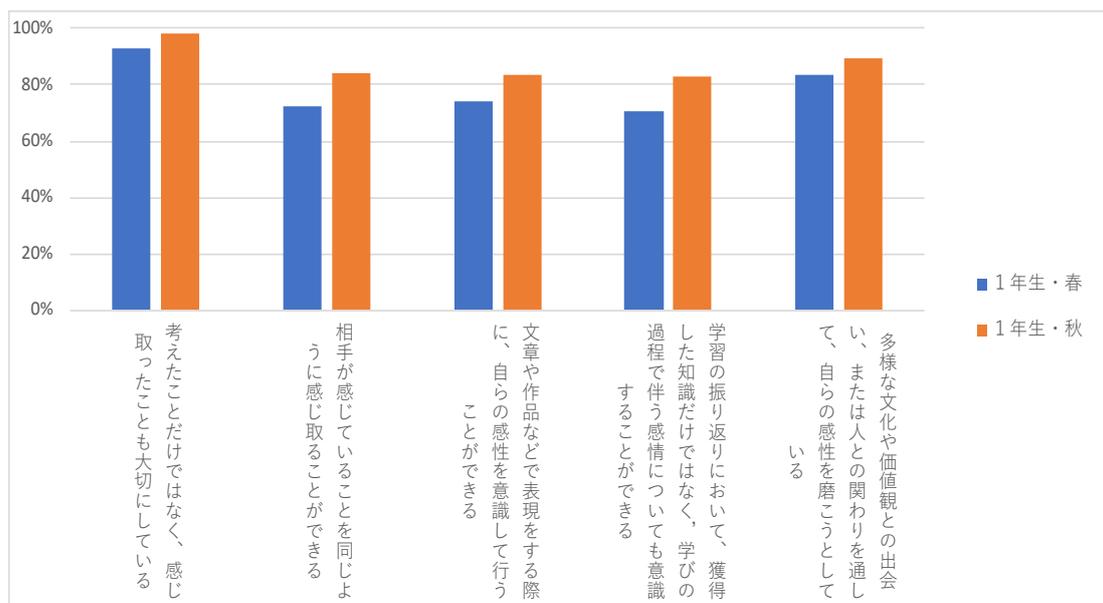


図 1 感性（感じる力）の選択率（全1年生）

② 共感

表 3 共感（感じる力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
感じる力	②共感	全回答数 1148	全回答数 1337
	自分の考え・意見との相違にかかわらず、他者の意見・考えがなぜそれに至ったかをその人の立場に立って理解することができる	82.8%	89.7%
	他者がおかれている状況を想像しながら相手の話を受け止め、共感的態度を示すことができる	86.4%	92.5%
	他者の考えをくみとり、他者が行動しやすいように支援することができる	80.1%	88.9%
	身の周りの共感できる出来事や変化に敏感に気づくことができる	71.3%	80.9%
	社会の中で困っている人のことに思いをはせて、自分に関連づけて考えることができる	70.7%	78.1%

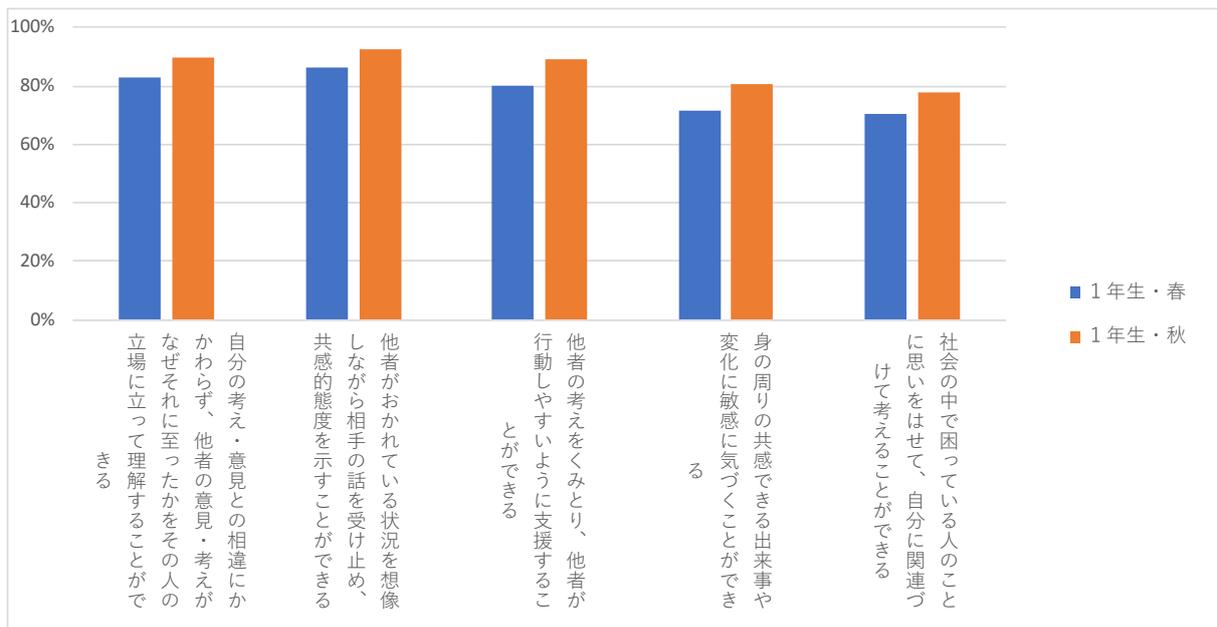


図 2 共感（感じる力）の選択率（全1年生）

③ 心身の自覚

表 4 心身の自覚（感じる力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
感じる力	③心身の自覚	全回答数 1148	全回答数 1337
	基本的な生活リズムが整うよう心がけている	75.4%	76.2%
	感情の昂ぶりや落ち込みなどの自分の精神状態を感じとることができる	88.8%	94.5%
	定期的に適度な運動を行ったり健診を受けたりするなど、身体もしくは健康状態を自覚することができる	69.9%	76.4%
	自分の物事の進め方に対するペースや感情、身体状態について把握できている	79.0%	86.6%
	自分自身が無理なくできる限界を知っている	65.9%	80.2%

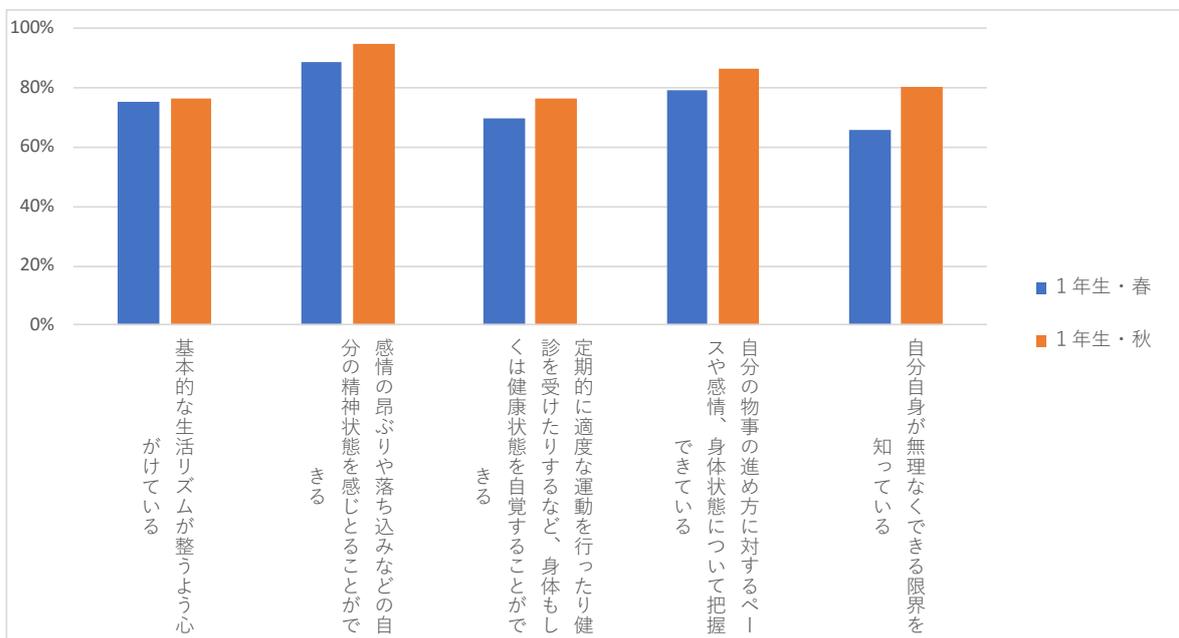


図 3 心身の自覚（感じる力）の選択率（全1年生）

【2年生以上：①感性、②共感、③主体性】

① 感性

表 5 感性（感じる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5,6年生	全学生
感じる力	①感性	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	相手が感じていることを同じように感じ取ることができる	88.0%	88.5%	90.8%	87.5%	89.0%
	文章や作品などで表現をする際に、自らの感性を意識して行うことができる	85.0%	85.9%	90.1%	68.8%	86.7%
	考えたことだけでなく、感じ取ったことも大切にしている	96.0%	95.0%	95.4%	93.8%	95.5%
	学習の振り返りにおいて、獲得した知識だけではなく、感性の観点も意識することができる	84.0%	84.4%	85.5%	75.0%	84.6%
	自らの感性がどのようなものかを意識することができる	84.2%	84.2%	88.5%	75.0%	85.4%

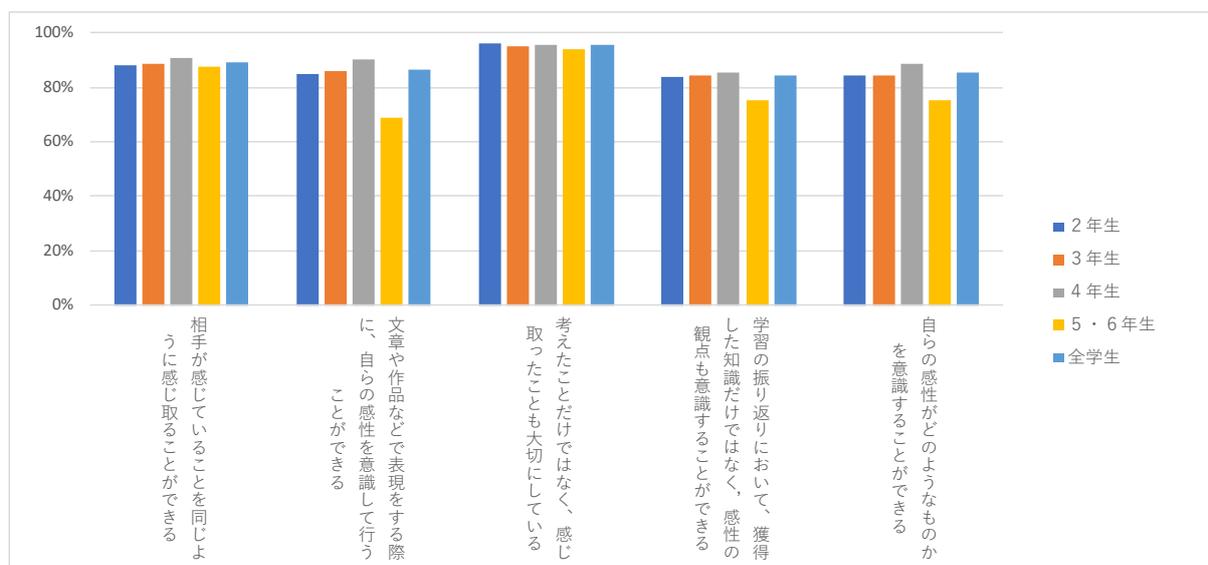


図 4 感性（感じる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

② 共感

表 6 共感（感じる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
感じる力	②共感	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	他者がおかれている状況を想像しながら相手の話を受け止め、共感的態度を示すことができる	94.3%	93.6%	95.0%	93.8%	94.3%
	他者の考えをくみとり、他者が行動しやすいように支援を行う	89.4%	90.0%	93.7%	87.5%	90.8%
	自分の考え・意見との相違にかかわらず、他者の意見・考えがなぜそれに至ったかをその人の立場に立って理解することができる	86.8%	89.3%	91.1%	87.5%	88.9%
	共感すべき対象や事柄が周囲にあるとき、それに敏感に気づくことができる	81.8%	83.2%	87.7%	81.3%	84.0%
	社会の中で困っている人のことに思いをはせて、自分に関連づけて考えることができる	82.3%	82.8%	84.6%	81.3%	83.1%

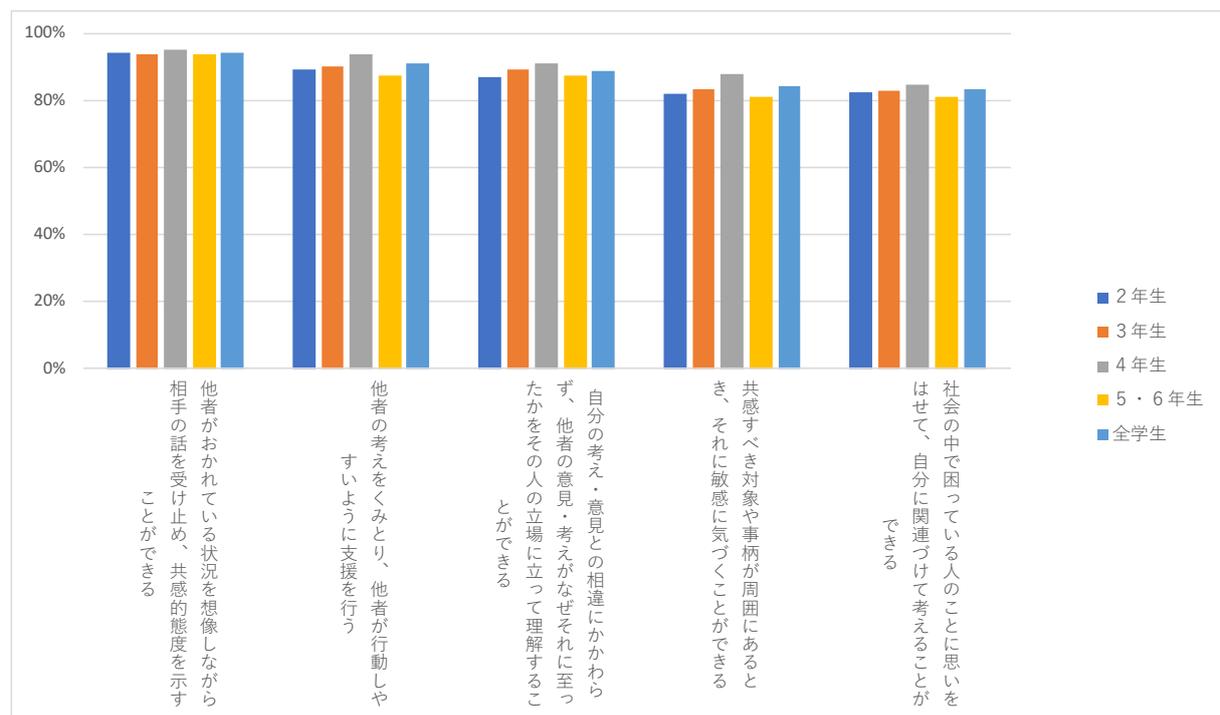


図 5 共感（感じる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

③ 主体性

表 7 共感（感じる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
感じる力	③主体性	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	与えられた課題の中でも意義や面白さを見つけることができる	82.8%	85.1%	87.9%	81.3%	85.1%
	常に長期的目標・短期的目標を設定し、意識しながら大学生活を送っている	69.7%	71.0%	75.9%	93.8%	72.1%
	うまく進まなかったり、失敗したりした場合でも、目標達成のために辛抱強くやり続けることができる	82.6%	83.1%	86.6%	93.8%	84.0%
	与えられたもの以外にも自分で調べたり学習を進めている	73.6%	76.8%	81.6%	75.0%	77.1%
	誘惑に負けずに、学習すべき時間をきちんと自己決定して確保することができる	66.7%	68.7%	72.3%	75.0%	69.1%

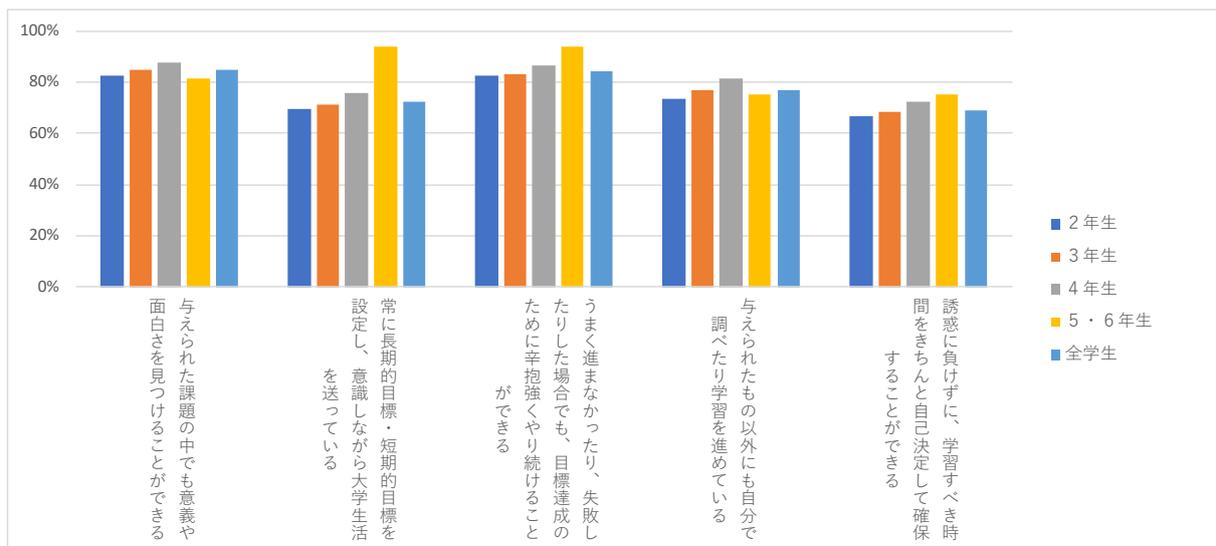


図 6 主体性（感じる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

## 2.1.2. 「考える力」



「考える力」に関する3つの項目それぞれに対して設定した5つの設問について、学生は自分があてはまると思うものをチェックした。以下に、【1年生】と【2年生以上】に分けて、設問と学年ごとの選択率を示す。

### 【1年生：④専門知識・技術、⑤教養、⑥論理的・批判的思考力】

#### ④ 専門知識・技術

表 8 専門知識・技術（考える力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
考える力	④専門知識・技術	全回答数 1148	全回答数 1337
	授業を通して専門領域の基本的な概念やスキルを習得した	53.5%	88.4%
	授業以外で、継続的に専門的知識・技術を手に入れる習慣ができている(例: 専門雑誌の講読、教員への質問、専門的トレーニングなど)	33.4%	54.9%
	専門領域の中で自分の研究テーマ(追求したいテーマ)が定まっている	34.2%	49.7%
	自分の専門について、知らない人にわかりやすく説明ができる	27.4%	46.0%
	専門的知識や技術を使って、同じ専門の人とやりとりができる	27.4%	49.2%

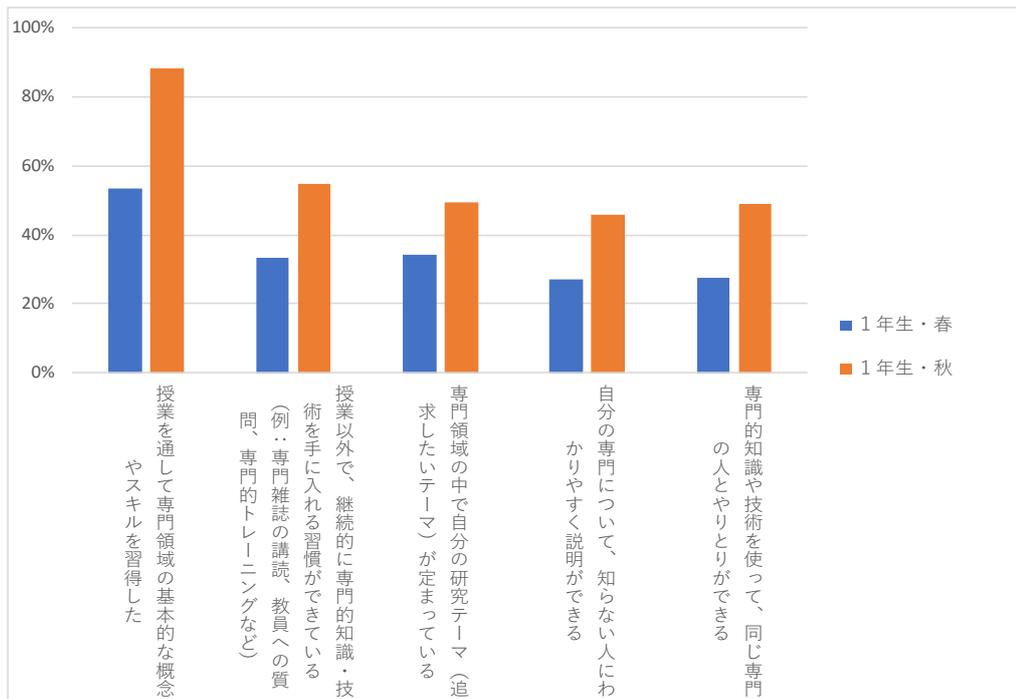


図 7 専門知識・技術（考える力）の選択率（全1年生）

⑤ 教養

表 9 教養（考える力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
考える力	⑤教養	全回答数 1148	全回答数 1337
	学問に分野による優劣はなく、どの学問も重要であるという敬意を持っている	81.4%	92.3%
	自分の専門分野以外についても、興味関心を持って知識や技能を得ようとしている	79.5%	88.0%
	自分の専門と他の学問との関わりについて説明することができる	39.0%	59.8%
	社会の一員として必要とされる教養について知っていて、それを磨こうとしている	70.6%	82.7%
	ニュース・新聞などを使って時事問題についての関心を広げている	54.6%	66.6%

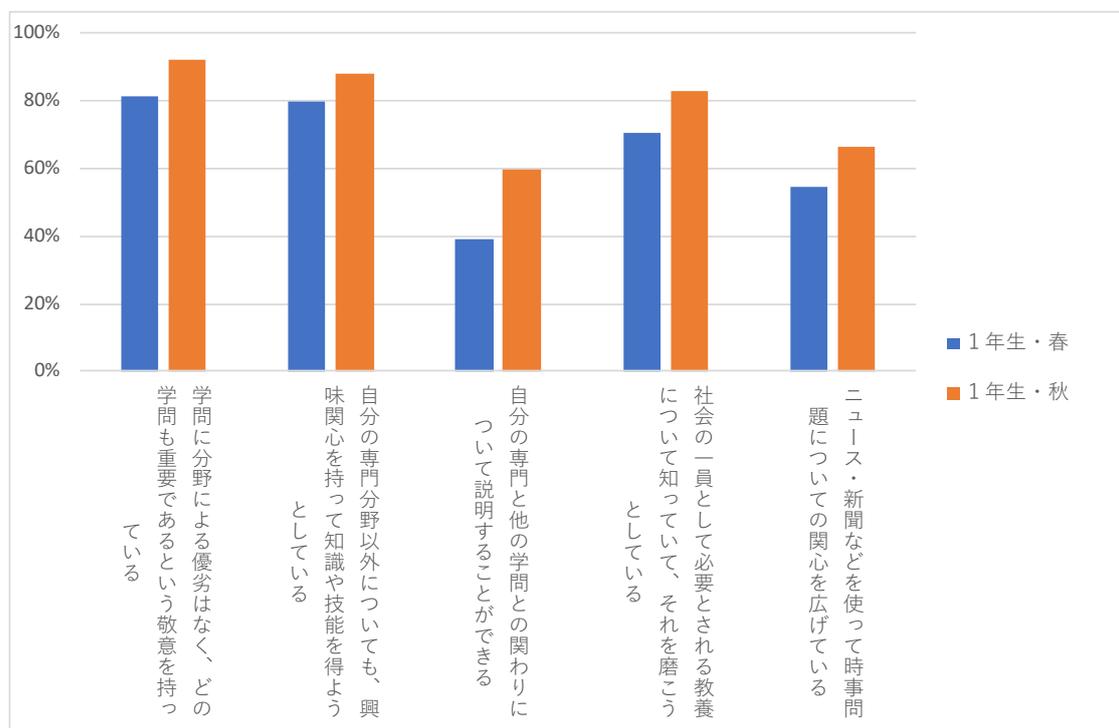


図 8 教養（考える力）の選択率（全1年生）

⑥ 論理的・批判的思考力

表 10 論理的・批判的思考力（考える力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
考える力	⑥論理的・批判的思考力	全回答数 1148	全回答数 1337
	論理的であるかどうかという観点から物事を考えることができる	69.1%	86.4%
	分かりやすく表現するために、物事を論理的に組み立てることができる	62.6%	77.0%
	自らが主張を行う際、その根拠として適切な客観的事実を示すことができる	68.1%	81.9%
	自分が考えたことや思考過程についても、批判的に捉えようとする事ができる	70.5%	83.8%
	自身で調べた様々な事実から物事を客観的に判断できる	73.1%	86.1%

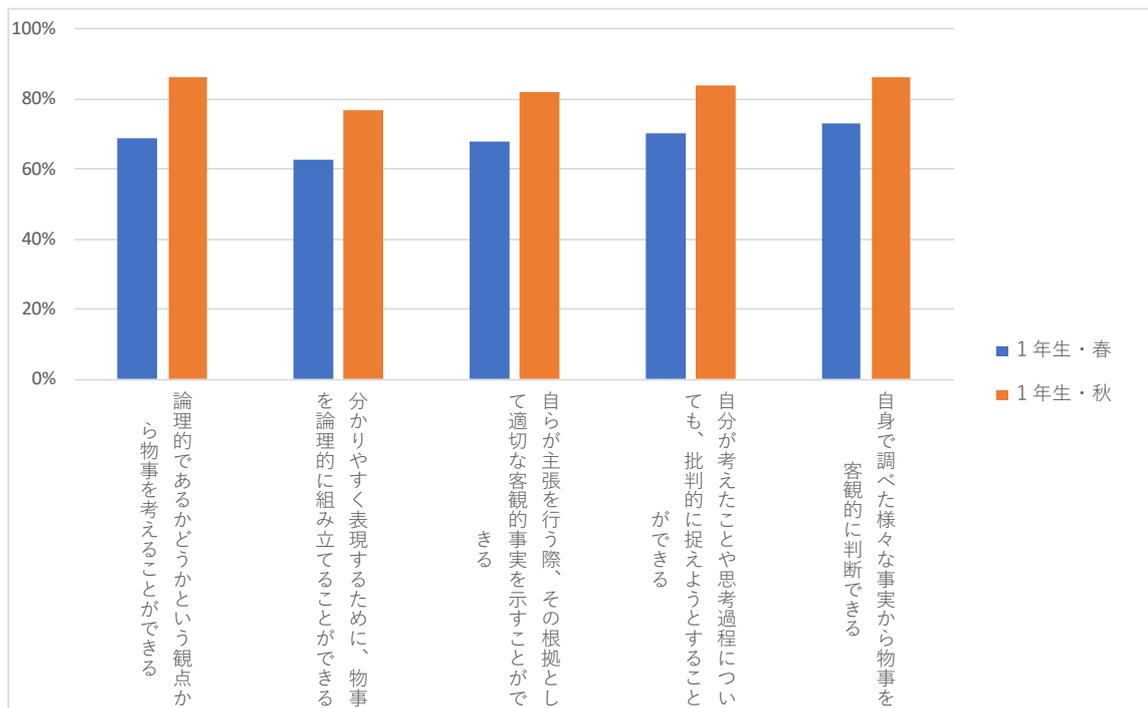


図 9 論理的・批判的思考力（考える力）の選択率（全1年生）

【2年生以上：④幅広い教養、⑤専門知識・技術、⑥論理的・批判的思考力】

④ 幅広い教養

表 11 幅広い教養（考える力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5,6年生	全学生
考える力	④幅広い教養	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	学問に分野による優劣はなく、どの学問も重要であるという敬意を持っている	87.7%	90.4%	92.3%	87.5%	90.0%
	自分の専門分野以外についても、興味関心を持って知識や技能を得ようとしている	82.8%	84.7%	85.3%	81.3%	84.2%
	自分の専門と他の学問との関わりについて説明することができる	63.2%	71.0%	72.7%	43.8%	68.6%
	社会の一員として必要とされる教養について知っていて、それを磨こうとしている	82.5%	83.5%	87.0%	87.5%	84.2%
	ニュース・新聞などを使って時事問題についての関心を広げている	67.1%	71.5%	76.4%	56.3%	71.3%

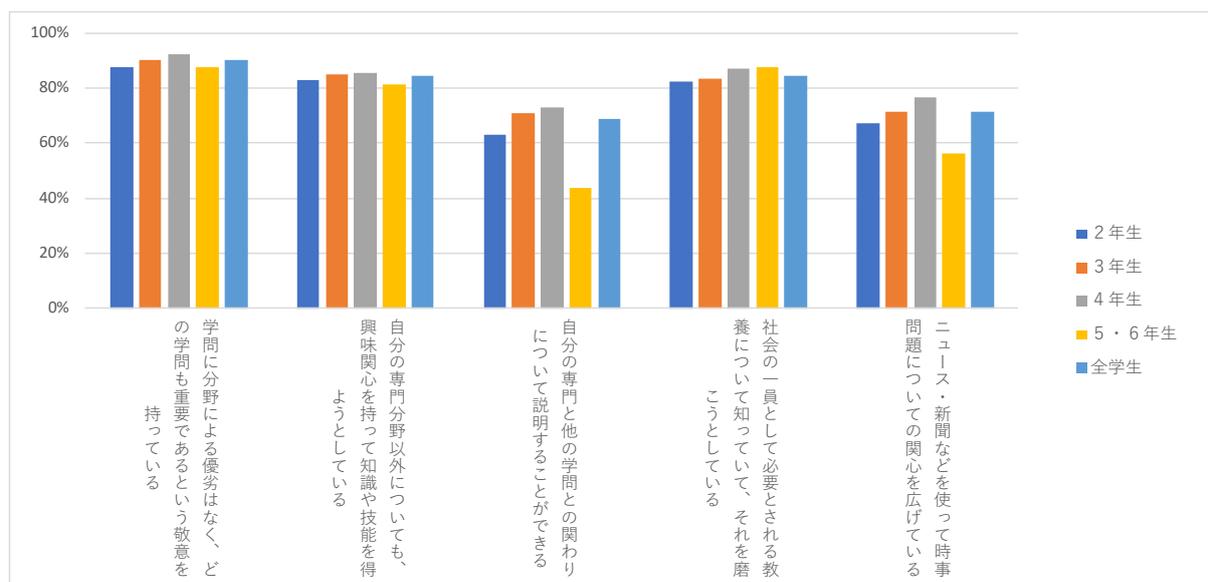


図 10 幅広い教養（考える力）の選択率（2年生以上の全学部生）

⑤ 専門知識・技術

表 12 専門知識・技術（考える力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
考える力	㊦専門知識・技術	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	授業を通して専門領域の基本的な概念やスキル、技能を習得した	91.4%	92.2%	92.9%	93.8%	92.1%
	授業以外で、定期的に専門的知識・技能を手に入れる習慣ができている（例：専門雑誌の講読、教員への質問、専門的トレーニングなど）	58.5%	65.5%	72.7%	75.0%	65.2%
	専門領域の中で自分の研究テーマ（追求したいテーマ）が定まっている	55.3%	63.5%	87.0%	62.5%	67.4%
	自分の専門について、知らない人にわかりやすく説明ができる	58.0%	64.4%	77.2%	43.8%	65.8%
	専門的知識や技術を使って、同じ専門の人とやりとりができる	55.5%	63.5%	66.9%	62.5%	61.7%

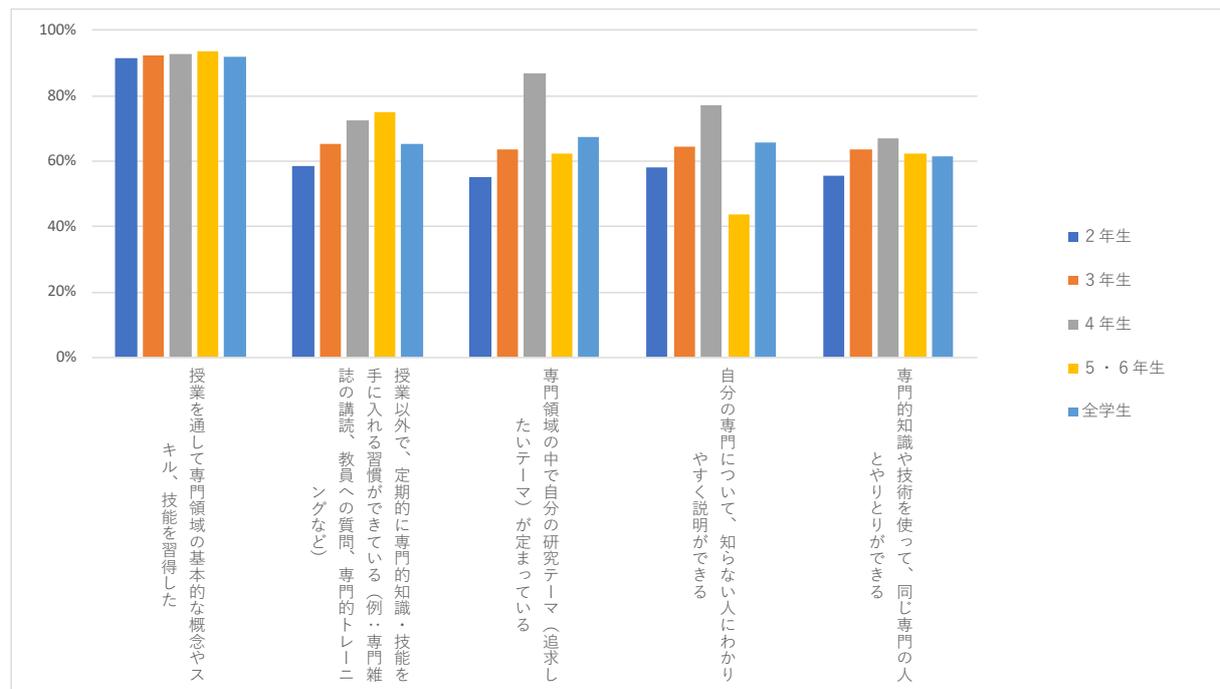


図 11 専門知識・技術（考える力）の選択率（2年生以上の全学部生）

⑥ 論理的・批判的思考力

表 13 論理的・批判的思考力（考える力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
考える力	◎論理的・批判的思考力	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	論理的であるかどうかという観点から物事を判断することができる	83.6%	87.9%	87.8%	87.5%	86.3%
	物事を分かりやすく順序立てて説明することができる	74.6%	75.3%	78.9%	75.0%	76.1%
	自らが主張を行う際、その根拠として適切な客観的事実を示すことができる	82.2%	83.2%	86.6%	81.3%	83.8%
	自分が考えたことや思考過程について、それで良いのかを問うことができる	86.7%	87.9%	90.2%	93.8%	88.2%
	多様な観点から考えの善し悪しを判断できる	87.7%	87.4%	89.7%	87.5%	88.2%

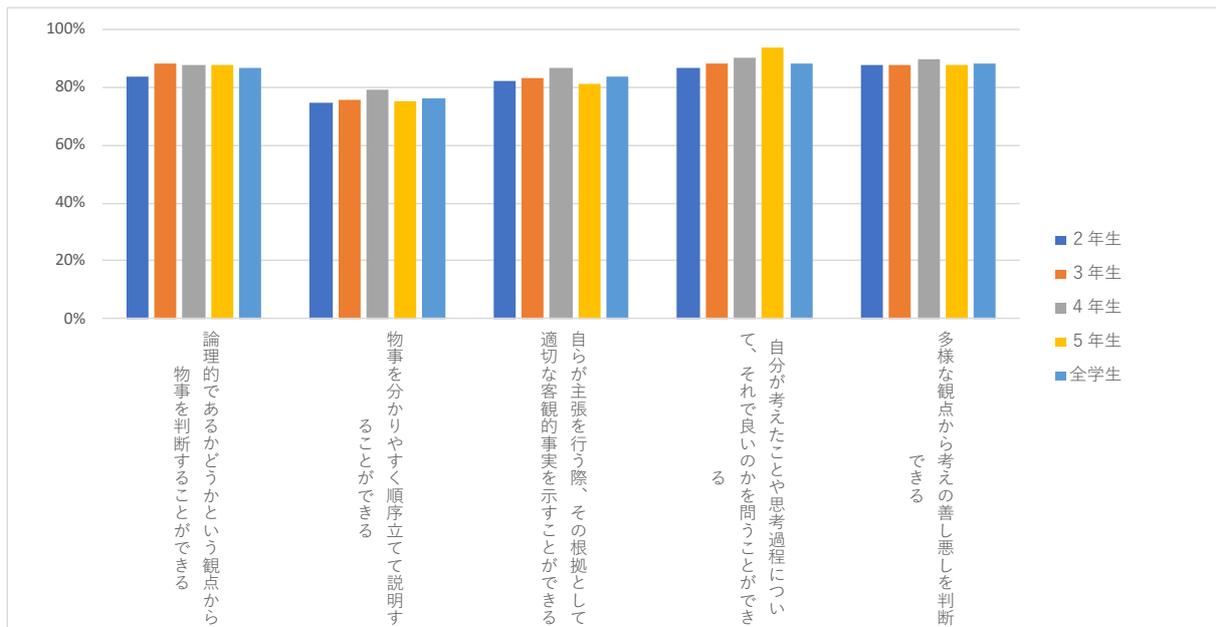


図 12 論理的・批判的思考力（考える力）の選択率（2年生以上の全学部生）

### 2.1.3. 「コミュニケーション力」



「コミュニケーション力」に関する3つの項目それぞれに対して設定した5つの設問について、学生は自分があてはまると思うものをチェックした。以下に、【1年生】と【2年生以上】に分けて、設問と学年ごとの選択率を示す。

【1年生：⑦発表・討論・対話力、⑧リーダーシップ・フォロワーシップ、⑨異文化理解・異文化コミュニケーション】

#### ⑦ 発表・討論・対話力

表 14 発表・討論・対話力（コミュニケーション力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
コミュニケーション力	⑦発表・討論・対話力	全回答数 1148	全回答数 1337
	学会や研究会、授業の発表の場などで研究や学習の成果について発表することができる	41.9%	66.6%
	自分の意見を場や相手に応じて効果的かつ分かりやすく発表することができる	46.5%	67.5%
	自分と異なる意見も尊重し、先入観なく理解することができる	74.1%	86.2%
	相手の立場や背景に配慮しながら自分の意見を伝えることができる	75.5%	85.5%
	議論が対立した場合でもその調整を行い、結論にたどり着くことができる	64.2%	78.8%

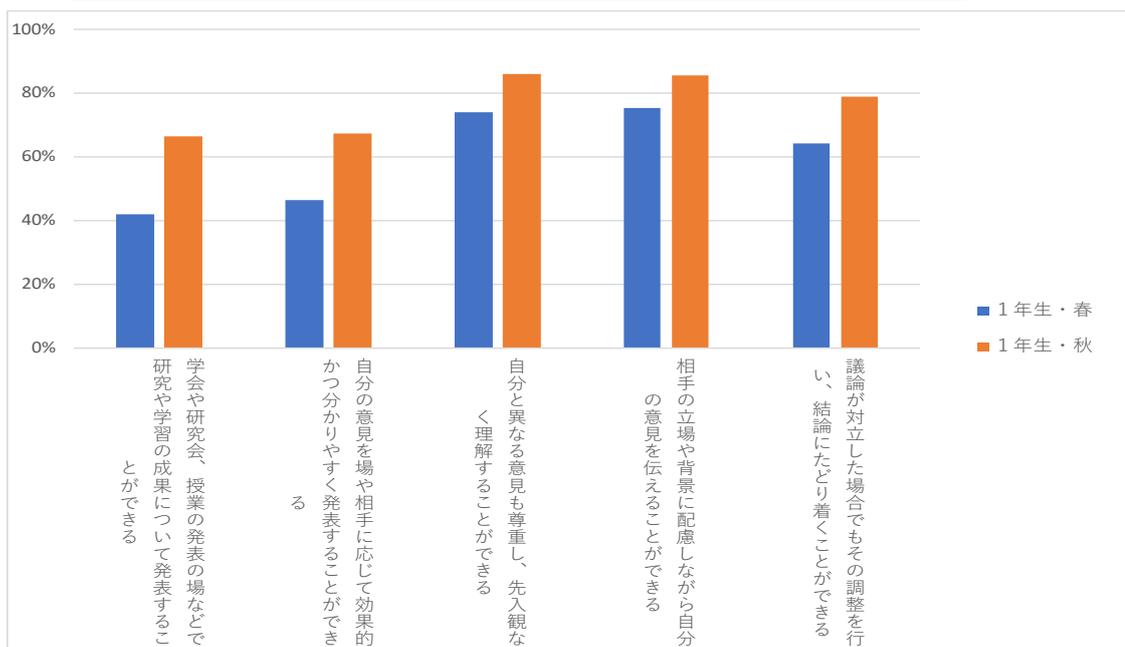


図 13 発表・討論・対話力（コミュニケーション力）の選択率（全1年生）

⑧リーダーシップ・フォロワーシップ

表 15 リーダーシップ・フォロワーシップ（コミュニケーション力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
コミュニケーション力	⑧リーダーシップ・フォロワーシップ	全回答数 1148	全回答数 1337
	目標を示して他人に協力を求めることができる	71.3%	84.4%
	グループの活動を前に進めるために、メンバーに声をかけることができる	66.3%	82.9%
	グループでの自らの役割を理解し、貢献することができる	78.6%	90.9%
	グループ活動の進捗状況や成果・課題を定期的に振り返ることができる	69.4%	84.8%
	初対面の人や気の合わない人、分野が違う人でも目標に向けて協力しあうことができる	72.3%	85.1%

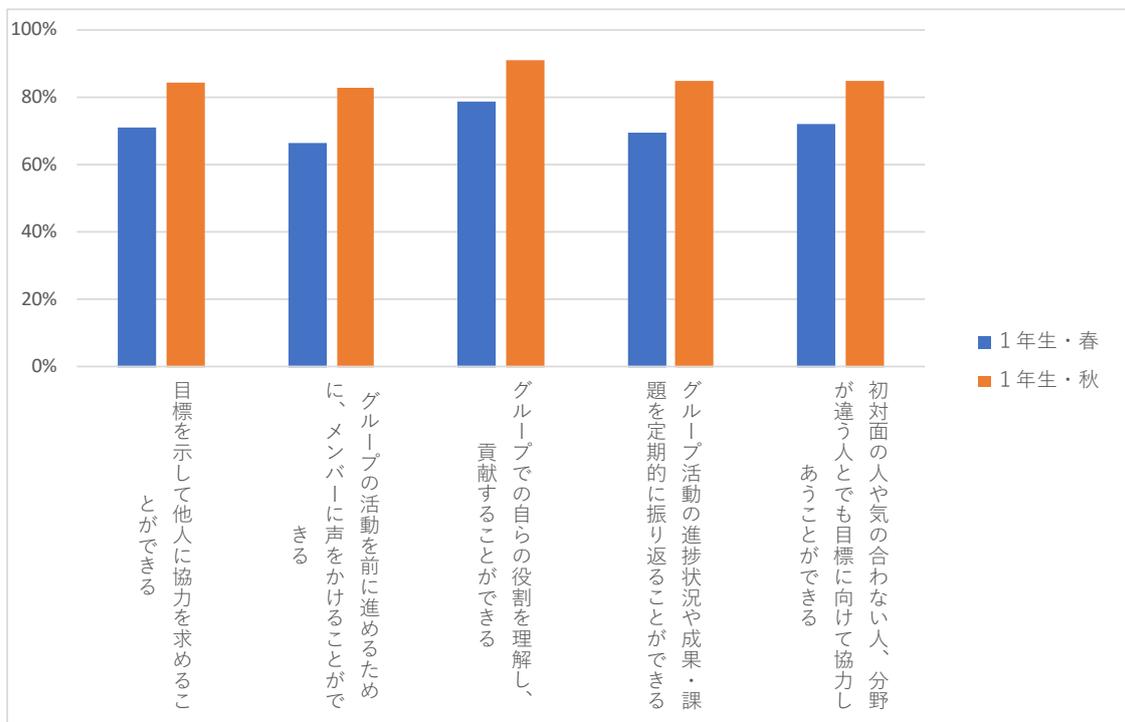


図 14 リーダーシップ・フォロワーシップ（コミュニケーション力）の選択率（全1年生）

⑨異文化理解・異文化コミュニケーション

表 16 異文化理解・異文化コミュニケーション(コミュニケーション力)の選択率(全1年生)

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
コミュニケーション力	⑨異文化理解・異文化コミュニケーション	全回答数 1148	全回答数 1337
	日頃から語学力の向上に取り組んでいる	49.6%	60.1%
	外国語で表現された一般的な情報や専門分野に関わる必要な情報を入手することができる	38.3%	57.8%
	異なる言語や文化との共通点・相違点を理解し受け入れることができる	77.2%	85.6%
	異なる社会的・文化的背景を持つ相手に配慮しながら、外国語で会話をする事ができる	35.0%	53.6%
	文化や言語の異なる相手と、相互理解に至るまで意思疎通を継続することができる	40.7%	59.3%

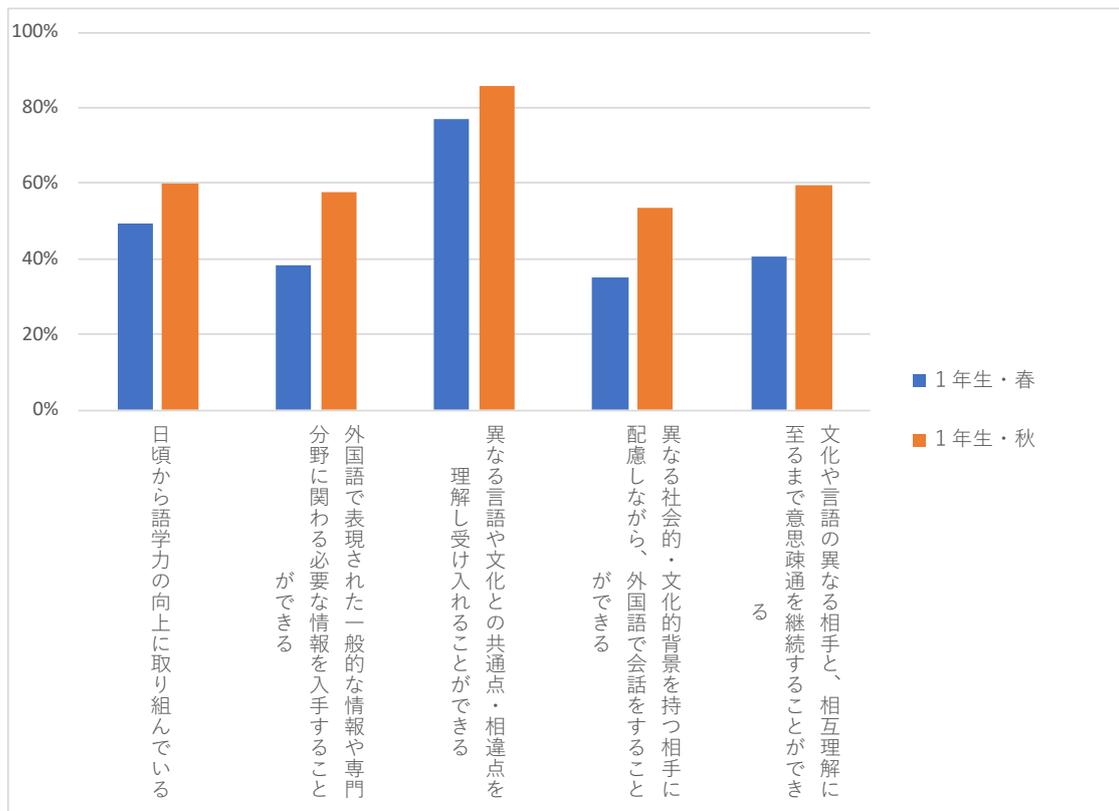


図 15 異文化理解・異文化コミュニケーション(コミュニケーション力)の選択率(全1年生)

【2年生以上：⑦表現力（発表・討論・対話）、⑧リーダーシップ・フォロワーシップ、⑨実践外国語力】

⑦表現力（発表・討論・対話）

表 17 表現力(発表・討論・対話)(コミュニケーション力)の選択率(2年生以上の全学部生)

		2年生	3年生	4年生	5,6年生	全学生
コミュニケーション力	⑦表現力(発表・討論・対話)	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	学会や研究会、発表会などで研究や学習の成果についての発表を行った	46.6%	50.1%	58.7%	75.0%	51.5%
	自分の意見を説得力のある形で伝えることができる	64.5%	68.7%	72.3%	68.8%	68.3%
	自分と異なる意見も尊重し、先入観なく最後まで理解した上で、自らの意見を伝えることができる	80.2%	82.9%	86.8%	81.3%	83.1%
	相手が受け入れやすい形で自分の意見を伝えることができる	79.4%	80.7%	83.3%	87.5%	81.1%
	議論が対立した場合でもその調整を行い、結論にたどり着くことができる	77.4%	80.2%	85.1%	75.0%	80.6%

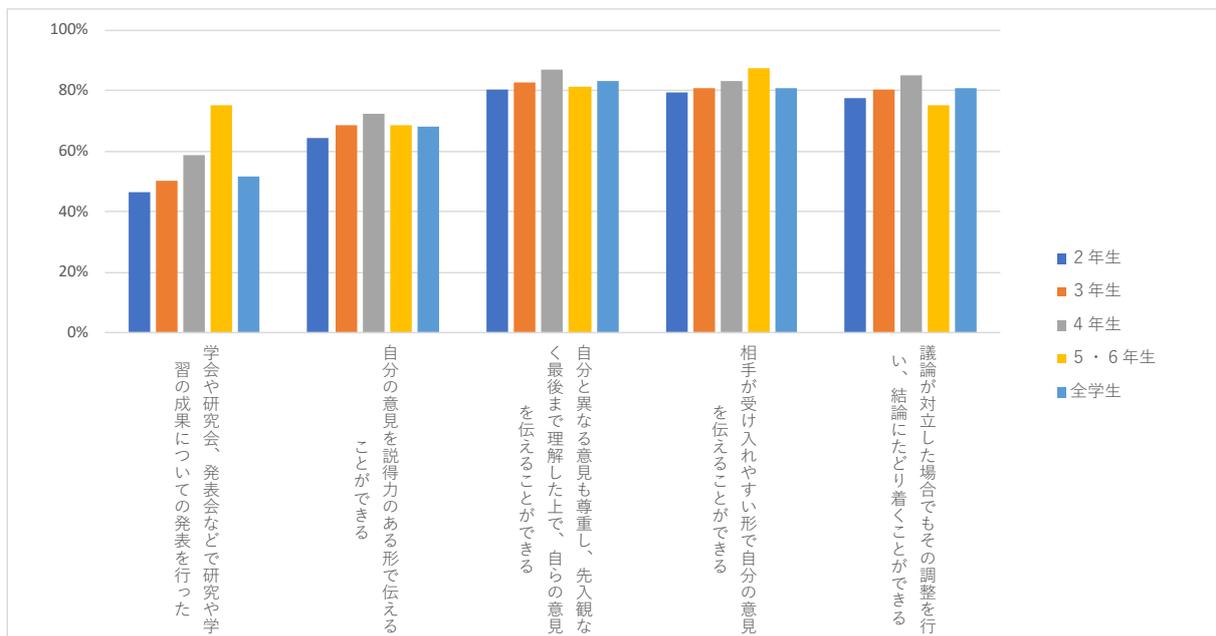


図 16 表現力(発表・討論・対話)(コミュニケーション力)の選択率(2年生以上の全学部生)

⑧ リーダーシップ・フォロワーシップ

表 18 リーダーシップ・フォロワーシップ(コミュニケーション力)の選択率(2年生以上の全学部生)

		2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
コミュニケーション力	⑧リーダーシップ・フォロワーシップ	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	成果目標を示して他人を巻き込む体験をした	58.9%	60.7%	66.4%	62.5%	61.7%
	グループの活動が停滞したときに、メンバーに声をかけて前に進めることができる	72.7%	75.1%	79.1%	87.5%	75.5%
	自ら所属しているグループに貢献する行動をとることができる	86.5%	87.5%	89.2%	81.3%	87.6%
	自分の考えに反することでもグループ全体にとってメリットがあることを優先する	86.6%	87.9%	91.0%	81.3%	88.3%
	初対面の人や気の合わない人、分野が違う人とも共通の目標に向けて協力しあうことができる	83.3%	87.1%	89.2%	81.3%	86.3%

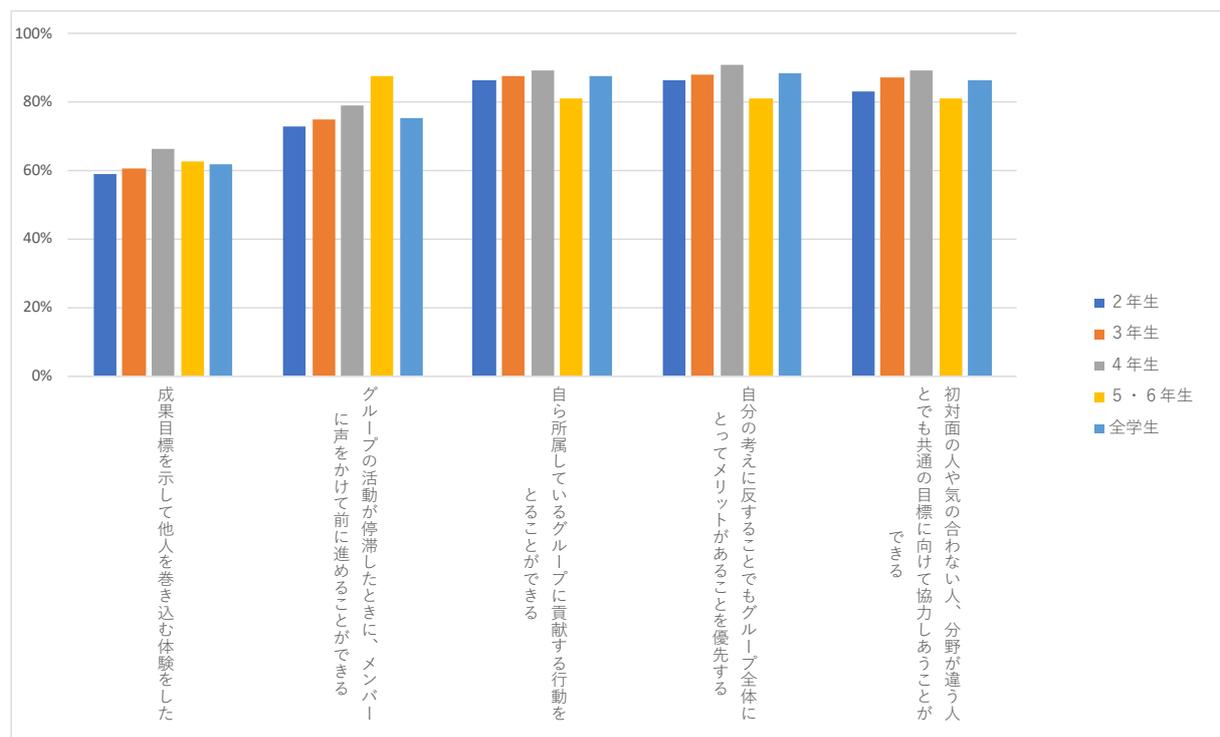


図 17 リーダーシップ・フォロワーシップ(コミュニケーション力)の選択率(2年生以上の全学部生)



## 2.1.4. 「行動する力」と「生きる力」

1年生は「行動する力」、2年生以上の学生は「生きる力」に関する3つの項目それぞれに対して5つの設問を設定し、学生は、自分があてはまると思う設問にチェックした。以下に、【1年生】と【2年生以上】に分けて、各項目に対する設問と学年ごとの選択率を示す。

【1年生：行動する力(⑩社会の一員としての態度・倫理観、⑪主体性、⑫問題発見・解決力)】

### ⑩社会の一員としての態度・倫理観

表 19 社会の一員としての態度・倫理観（行動する力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
行動する力	⑩社会の一員としての態度・倫理観	全回答数 1148	全回答数 1337
	三重大学及び社会の一員として、マナーをふまえた行動をすることができる	86.6%	96.8%
	与えられた任務を責任感と当事者意識を持って遂行することができる	82.9%	94.3%
	場や状況を適切に判断し、行動することができる	79.8%	91.0%
	自らの欲求や周囲に流されることなく、倫理的な基準をふまえた判断や決定ができる	72.6%	85.0%
	学修活動や研究における倫理的・法的基準(研究公正、知的財産権、生成AIの利活用など)に関する知識を持ち、判断し守ることができる	71.4%	88.9%

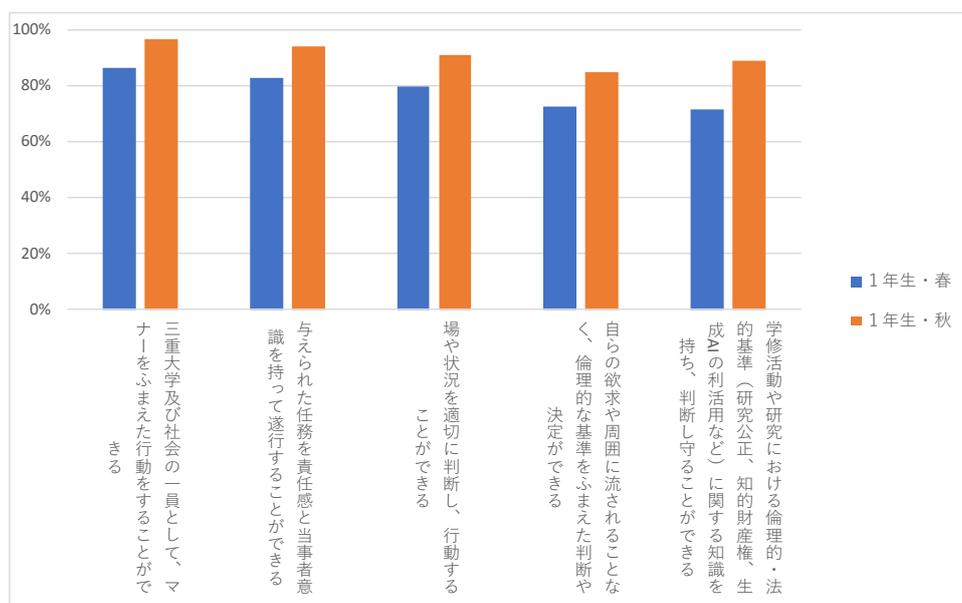


図 18 社会の一員としての態度・倫理観（行動する力）の選択率（全1年生）

⑪主体性

表 20 主体性（行動する力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
行動する力	⑪主体性	全回答数 1148	全回答数 1337
	必要な準備を整えたうえで、失敗を恐れず挑戦することができる	61.8%	77.0%
	常に長期的目標・短期的目標を設定し、意識しながら大学生活を送っている	59.1%	72.4%
	うまく進まなかったり、失敗したりした場合でも、目標達成のために辛抱強くやり続けることができる	71.8%	84.5%
	社会の事象に関心を持ち、自分で調べたり考えたりすることができる	69.3%	81.8%
	周囲の意見に流されず、自分で判断し、行動することができる	65.4%	80.0%

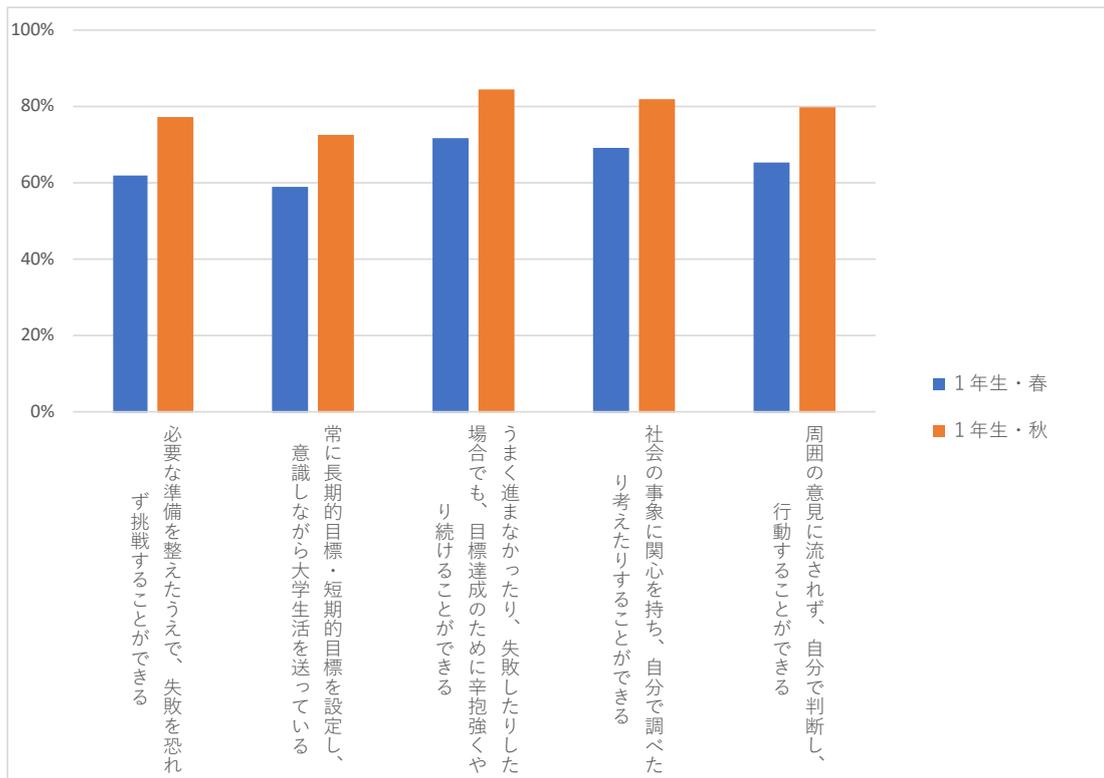


図 19 主体性（行動する力）の選択率（全1年生）

⑫問題発見・解決力

表 21 問題発見・解決力（行動する力）の選択率（全1年生）

		アンケート1 (春)	アンケート 2 (秋)
		1年生	1年生
行動する力	⑫問題発見・解決力	全回答数 1148	全回答数 1337
	解決すべき問題を自ら発見することができる	67.2%	82.9%
	様々な情報源(文献やフィールド、インターネットなど)を活用して、必要な情報を集めることができる	76.8%	89.8%
	多様な解決方法の中から、状況や条件に適した方法を選択できる	71.9%	86.9%
	問題解決に向けて実現可能な計画を立てることができる	65.0%	79.9%
	問題を解決するために創意・工夫を繰り返すことができる	71.1%	85.5%

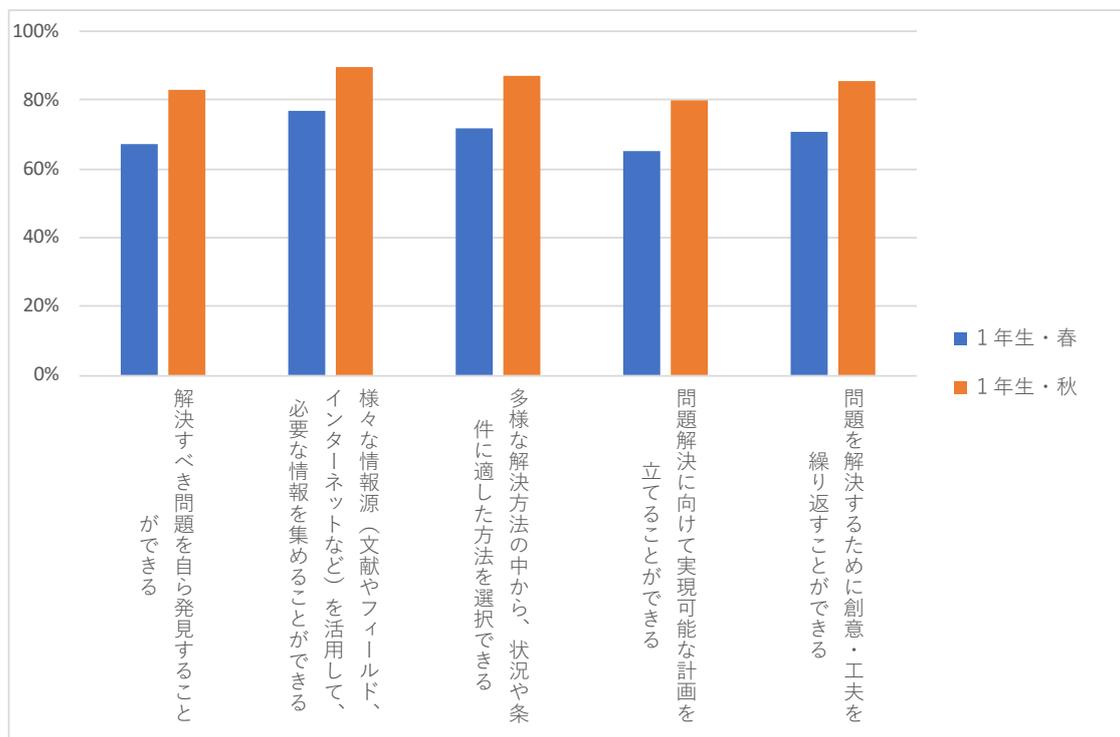


図 20 問題発見・解決力（行動する力）の選択率（全1年生）

【2年生：生きる力（⑩問題発見・解決力、⑪心身の健康に対する意識、⑫社会人としての態度・倫理観）】

⑩問題発見・解決力

表 22 問題発見・解決力（生きる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
生きる力	⑩問題発見・解決力	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	解決すべき問題を自ら発見することができる	83.6%	85.4%	88.0%	81.3%	85.5%
	ICTや図書館を活用して、必要な情報を集めることができる	78.2%	84.1%	86.7%	93.8%	82.8%
	問題を解決するために創意・工夫を繰り返すことができる	82.7%	85.6%	88.8%	81.3%	85.5%
	多様な解決方法の中から、状況や条件に適した方法を選択できる	82.1%	83.8%	87.2%	87.5%	84.2%
	問題解決に向けて実現可能な計画を立てることができる	79.4%	80.1%	84.9%	81.3%	81.2%

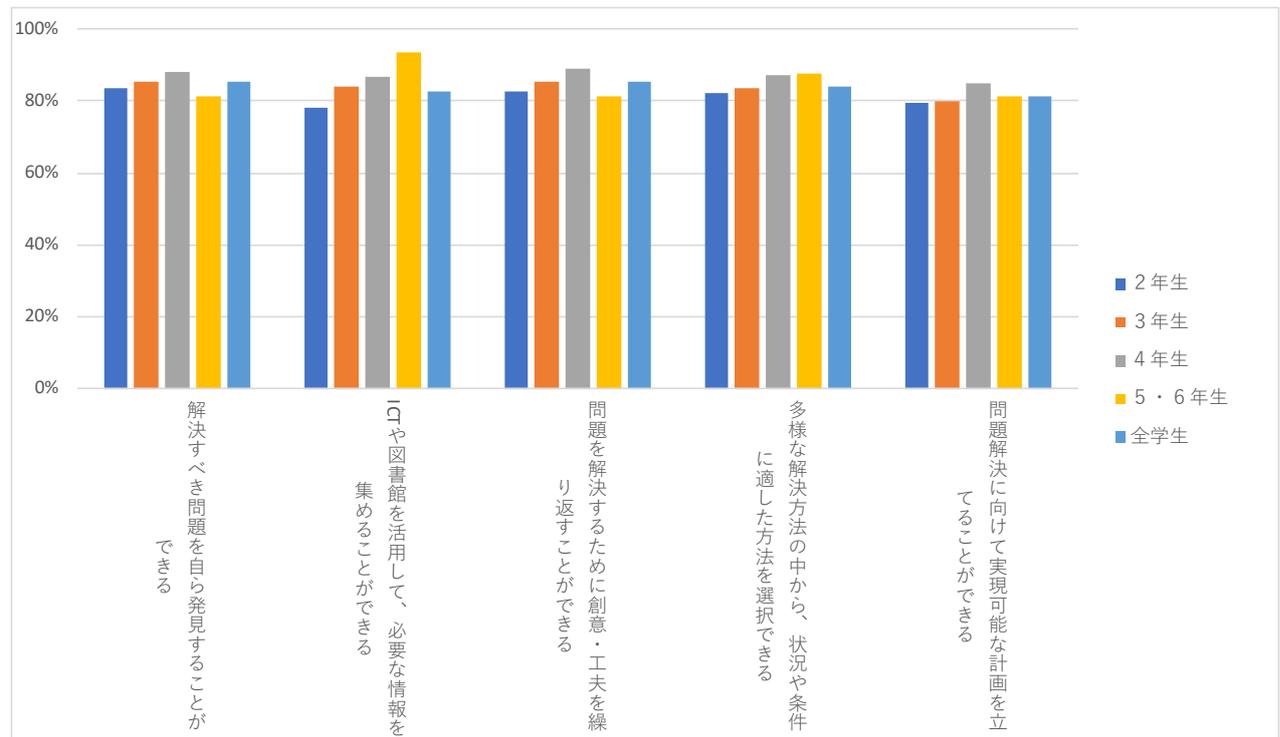


図 21 問題発見・解決力（生きる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

⑪心身の健康に対する意識

表 23 心身の健康に対する意識（生きる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
生きる力	⑪心身の健康に対する意識	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	早寝・早起き・朝ご飯など基本的な生活リズムが整っている	61.5%	63.3%	64.3%	81.3%	63.0%
	感情の昂ぶりや落ち込みをコントロールすることができる	75.8%	74.6%	80.2%	56.3%	76.6%
	定期的に適度な運動を行っている	70.4%	69.4%	70.5%	50.0%	70.0%
	自分の物事の進め方に対するペースや感情、身体状態について把握できている	85.9%	87.8%	88.2%	75.0%	87.2%
	自分の無理ができる限界を知っている	78.7%	80.7%	83.0%	68.8%	80.6%

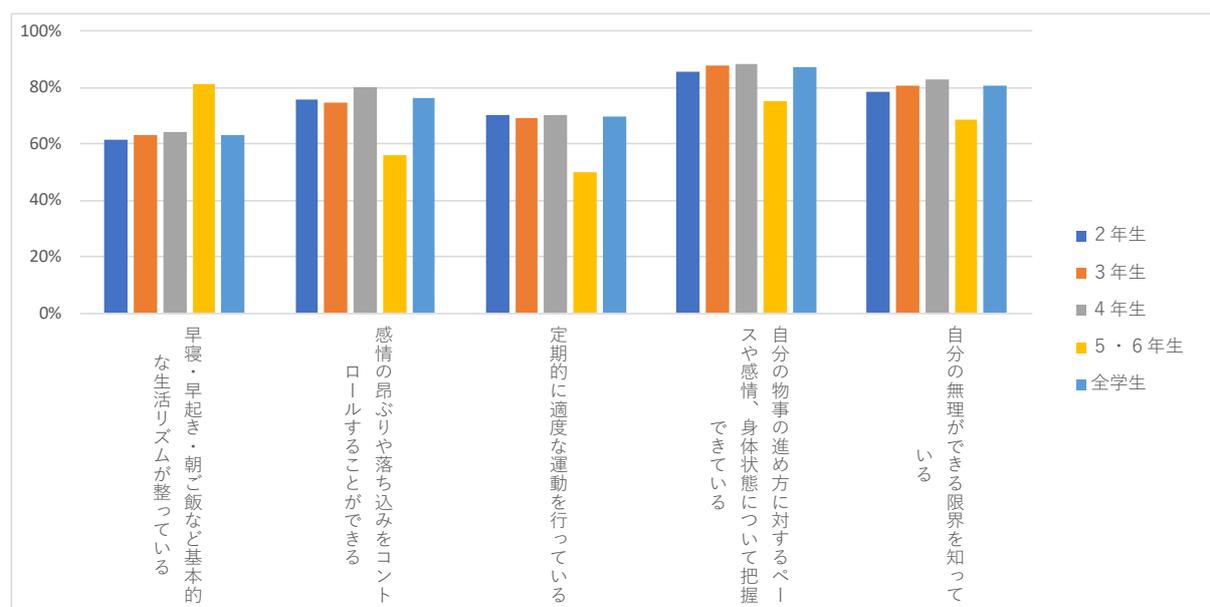


図 22 心身の健康に対する意識（生きる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

⑫社会人としての態度・倫理観

表 24 社会人としての態度・倫理観（生きる力）の選択率（2年生以上の全学部生）

		2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
生きる力	⑫社会人としての態度・倫理観	全回答数 1216	全回答数 1225	全回答数 1007	全回答数 16	全回答数 3464
	三重大学及び社会の一員として、マナーをふまえた行動することができる(例:挨拶、時間厳守、敬語、手紙や電子メールの作法、受講態度など)	94.9%	94.2%	93.7%	87.5%	94.3%
	自らの欲求や周囲に流されることなく、倫理的な基準をふまえた判断や自己決定ができる	87.4%	88.0%	91.0%	87.5%	88.7%
	与えられた任務を責任感と当事者意識を持って遂行することができる	91.3%	91.8%	93.4%	93.8%	92.1%
	場や状況に応じて適切な振る舞いをその都度考え、選択することができる	92.2%	91.9%	92.5%	93.8%	92.2%
	専門領域における倫理的・法的基準（著作権など）に関する知識を持ち、判断し守ることができる	86.8%	88.0%	91.1%	93.8%	88.5%

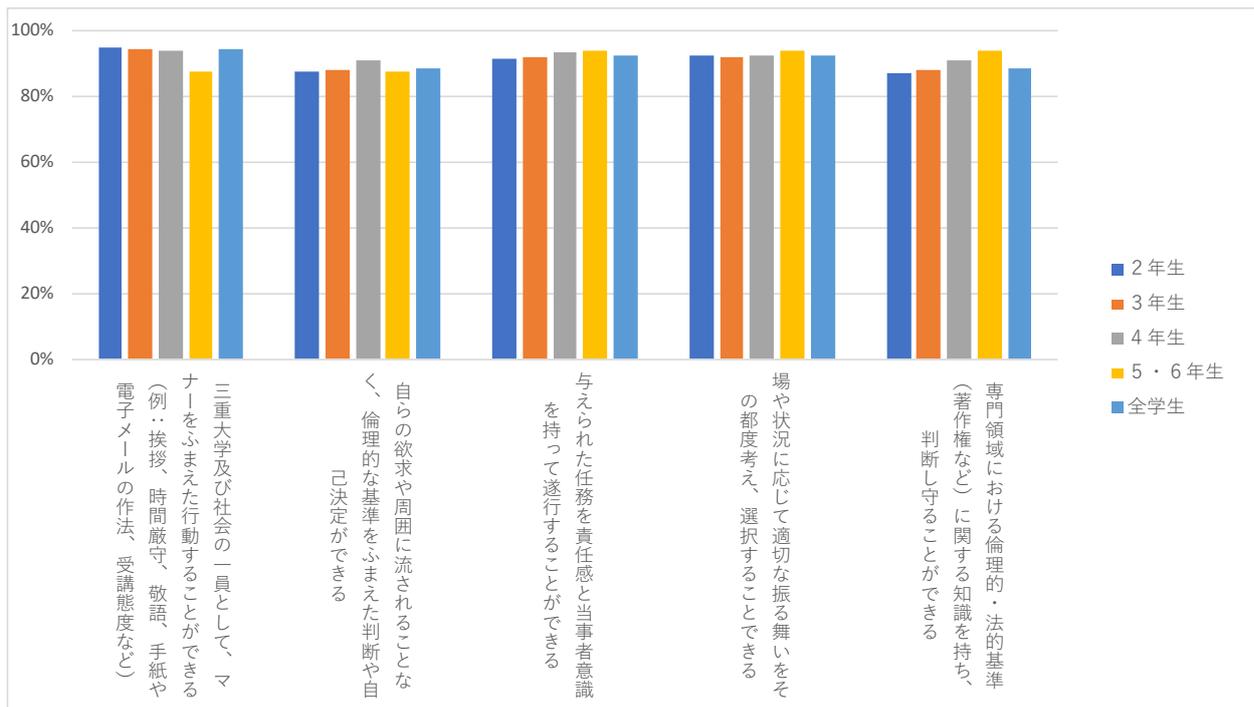


図 23 社会人としての態度・倫理観（生きる力）の選択率（全学部生）

### 2.1.5. 「4つの力」を身につけることについての意識

「4つの力」を身につけることを大切だと思うかどうか、「全くそう思わない（1）」から「非常にそう思う（5）」の5段階で回答を求め、4つの力ごとに学年別の平均値を算出した。平均値が高いほどその設問の内容にあてはまることを表している。

#### 【1年生】

表 25 「4つの力」を身につけることについての意識（平均値）（全1年生）

	1年生・春	1年生・秋
「感じる力」を身につけることが大切だと思いますか	4.41	4.05
「考える力」を身につけることが大切だと思いますか	4.51	4.17
「コミュニケーション力」を身につけることが大切だと思いますか	4.56	4.21
「行動する力」を身につけることが大切だと思いますか	4.54	4.18

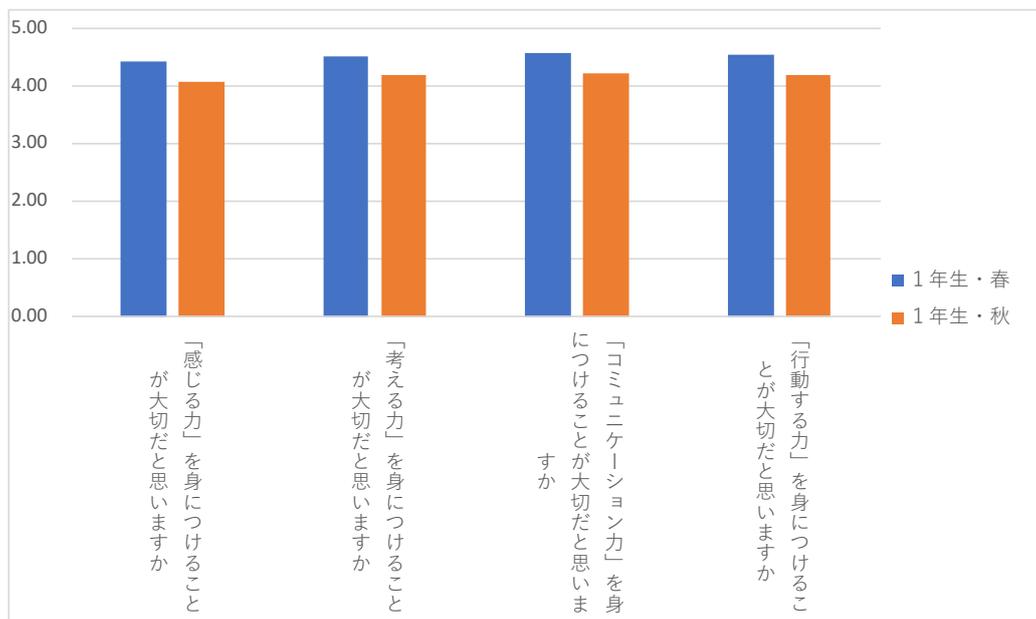


図 24 「4つの力」を身につけることについての意識（平均値）（全1年生）

【2年生以上】

表 26 「4つの力」を身につけることについての意識（平均値）（2年生以上の全学部生）

	2年生	3年生	4年生	5.6年生	全学生
「感じる力」を身につけることが大切だと思いますか	3.94	3.89	4.04	3.93	3.95
「考える力」を身につけることが大切だと思いますか	4.02	3.97	4.12	4.05	4.04
「コミュニケーション力」を身につけることが大切だと思いますか	4.06	4.01	4.15	4.04	4.06
「生きる力」を身につけることが大切だと思いますか	4.03	3.96	4.11	3.97	4.02

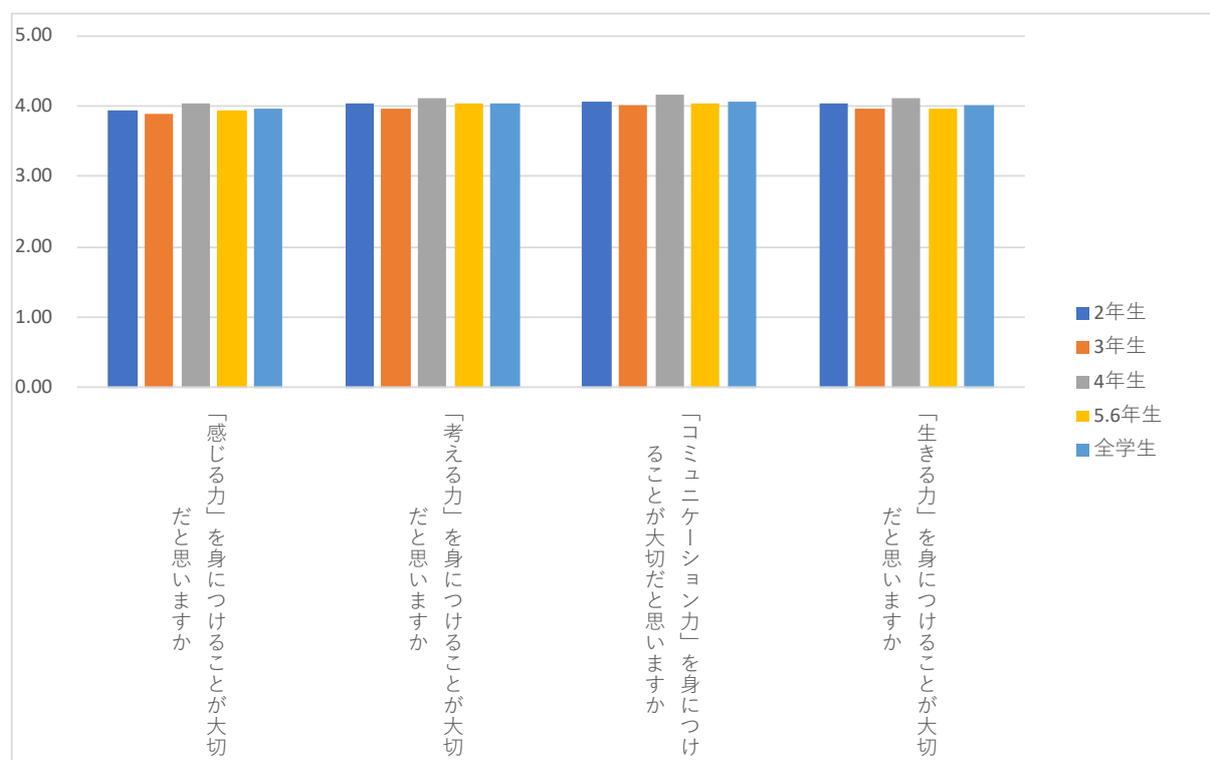


図 25 「4つの力」を身につけることについての意識（平均値）（2年生以上の全学部生）